



2021年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2021年1月7日

上場会社名 株式会社放電精密加工研究所
 コード番号 6469 URL <https://www.hsk.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 工藤 紀雄

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 大村 亮

TEL 045-277-0330

四半期報告書提出予定日 2021年1月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第3四半期の連結業績(2020年3月1日～2020年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	8,323		269		289		548	
2020年2月期第3四半期								

(注) 包括利益 2021年2月期第3四半期 653百万円 (%) 2020年2月期第3四半期 百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第3四半期	75.75	
2020年2月期第3四半期		

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期第3四半期	18,188	7,120	35.7	897.27
2020年2月期	17,709	7,939	41.0	1,002.26

(参考) 自己資本 2021年2月期第3四半期 6,498百万円 2020年2月期 7,258百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期		0.00		22.00	22.00
2021年2月期		0.00			
2021年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日～2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,506	3.4	742		775		1,040		143.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期3Q	7,407,800 株	2020年2月期	7,407,800 株
期末自己株式数	2021年2月期3Q	165,381 株	2020年2月期	165,381 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年2月期3Q	7,242,419 株	2020年2月期3Q	7,242,499 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(追加情報等)	9
3. 補足情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、前期の2019年6月12日付で連結子会社でありました株式会社ミヤギを吸収合併したことにより2020年2月期第3四半期では連結財務諸表非作成会社であった一方、KYODO DIE-WORKS (THAILAND) CO., LTD. が前連結会計年度末に連結子会社となったため、前年同四半期の損益数値及びこれに係る対前年同四半期増減率等の比較分析は行っていません。

当第3四半期連結累計期間（2020年3月1日～2020年11月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により緊急事態宣言が発令され、経済活動が大きく制限されるなか企業収益は急速に減少し極めて厳しい状況に陥りました。緊急事態宣言が解除された後も、雇用・所得環境の悪化は続いており、個人消費や企業収益の回復も先行きが見えない不透明な状態となっております。また、世界経済においても新型コロナウイルス感染症は収束の兆しもないまま更に拡大を続けており、経済活動への影響も予断を許さない状況となっております。

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く業界動向は、環境・エネルギー関連は、堅調に推移したものの、航空・宇宙関連、住宅関連、交通・輸送関連、機械販売関連は厳しく推移しました。このような環境の中、当社グループは新型コロナウイルスの感染防止対策を講じるとともに、経費削減や投資計画の見直しを図るなど、あらゆる角度から利益創出に向けた対策を実行いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高につきましては、タイ国の関連会社であったKYODO DIE-WORKS (THAILAND) CO., LTD. が前連結会計年度末に連結子会社となったことなどから、8,323百万円となりました。利益につきましては、新型コロナウイルス感染拡大等の影響により航空・宇宙関連、交通・輸送関連、機械販売関連が厳しく推移したことなどから営業損失は269百万円、経常損失は289百万円、特別損失として希望退職募集に伴う特別退職金146百万円を計上したことなどにより親会社株主に帰属する四半期純損失は548百万円となりました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

なお、各セグメントの営業利益は、各セグメントに配賦することが困難な本社管理部門に係る営業費用等を控除する前のものであります。

①放電加工・表面処理

放電加工・表面処理は、航空・宇宙関連で新型コロナウイルス感染症拡大による急激な需要低迷により生産調整が行われ大幅な減産となりましたが、環境・エネルギー関連の遠心圧縮機関連部品や、産業用ガスタービン関連部品の売上高が増加し上記のマイナスを吸収いたしました。利益面では、環境・エネルギー関連の産業用ガスタービン関連部品が増収効果と工程改善によって原価改善が図れたものの、航空・宇宙関連の大幅な売上高の落ち込みの影響は大きく、減益の吸収には至りませんでした。

その結果、売上高は4,313百万円、営業損失は26百万円となりました。

②金型

金型は、新型コロナウイルス感染症拡大による影響等により、住宅着工件数の減少および、産業品の需要停滞によって住宅関連のアルミ押出用金型などが減少したことに加え、交通・輸送関連のセラミックスハニカム押出用金型も減少するなど、厳しく推移したものの、タイ国の関連会社であったKYODO DIE-WORKS (THAILAND) CO., LTD. を前連結会計年度末より連結子会社としたことにより増収となりました。利益面では、交通・輸送関連の売上高の減少影響により営業利益を押し下げました。

その結果、売上高は3,131百万円、営業利益は326百万円となりました。

③機械装置等

機械装置等は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、機械設備関連のデジタルサーボプレス機等については、コロナ禍で市場環境が不透明なことなどから納入が延期となるものがあつたことに加え、交通・輸送関連のプレス部品加工の減産がございました。利益面では、減産の影響があつたものの、金型セグメント向けの金型生産設備及び、放電加工・表面処理セグメント向けの加工設備等の社内販売により利益を計上いたしました。

その結果、売上高は877百万円、営業利益は92百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ231百万円増加し、6,453百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加718百万円、受取手形及び売掛金の減少529百万円、仕掛品の増加97百万円によるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ248百万円増加し、11,735百万円となりました。その主な要因は、大和事業所の竣工にともなう建物及び構築物の増加886百万円及び、有形固定資産のリース資産の増加523百万円の方で、建設仮勘定の減少720百万円及び、機械装置及び運搬具（純額）の減少279百万円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べ939百万円増加し、5,366百万円となりました。その主な要因は、短期借入金の増加885百万円、その他に含まれる未払金の増加229百万円及び、賞与引当金の減少173百万円によるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べ360百万円増加し、5,701百万円となりました。その主な要因は、リース債務の増加399百万円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ819百万円減少し、7,120百万円となりました。その主な要因は、配当金の支払159百万円に加え、当四半期純損失548百万円を計上したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の通期連結業績予想につきましては、2020年10月6日の2021年2月期第2四半期決算短信で発表いたしました2021年2月期通期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては本日（2021年1月7日）公表の「希望退職者の募集結果及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,407,292	2,125,719
受取手形及び売掛金	2,847,629	2,317,659
電子記録債権	379,291	358,880
商品及び製品	17,349	24,417
仕掛品	767,977	865,005
原材料及び貯蔵品	480,430	518,439
その他	322,312	243,378
貸倒引当金	△31	△25
流動資産合計	6,222,251	6,453,475
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,431,980	3,318,971
機械装置及び運搬具(純額)	2,203,025	1,923,234
土地	4,033,516	4,032,582
リース資産(純額)	190,850	714,701
建設仮勘定	1,067,111	346,145
その他(純額)	224,971	191,525
有形固定資産合計	10,151,456	10,527,161
無形固定資産		
ソフトウェア	98,633	89,607
リース資産	183,742	130,260
その他	6,765	25,860
無形固定資産合計	289,141	245,728
投資その他の資産		
投資有価証券	168,207	150,168
繰延税金資産	739,269	681,220
その他	152,180	144,526
貸倒引当金	△13,500	△13,500
投資その他の資産合計	1,046,157	962,415
固定資産合計	11,486,755	11,735,305
資産合計	17,709,006	18,188,781

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,104,331	1,142,751
短期借入金	2,113,655	2,999,095
リース債務	129,246	194,011
未払法人税等	17,961	5,887
賞与引当金	258,189	84,350
工場移転費用引当金	55,500	—
その他	748,315	940,741
流動負債合計	4,427,200	5,366,837
固定負債		
長期借入金	3,611,873	3,649,716
長期末払金	47,220	47,220
リース債務	271,793	671,493
退職給付に係る負債	1,342,779	1,255,417
デリバティブ債務	17,998	10,775
資産除去債務	50,173	50,390
繰延税金負債	—	16,866
固定負債合計	5,341,837	5,701,881
負債合計	9,769,038	11,068,719
純資産の部		
株主資本		
資本金	889,190	889,190
資本剰余金	778,642	778,642
利益剰余金	5,834,565	5,126,632
自己株式	△111,025	△111,025
株主資本合計	7,391,372	6,683,438
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,908	△8,781
繰延ヘッジ損益	△12,494	△7,509
為替換算調整勘定	—	△54,282
退職給付に係る調整累計額	△129,004	△114,424
その他の包括利益累計額合計	△132,590	△184,997
非支配株主持分	681,186	621,621
純資産合計	7,939,968	7,120,061
負債純資産合計	17,709,006	18,188,781

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
売上高	8,323,119
売上原価	6,971,102
売上総利益	1,352,017
販売費及び一般管理費	
運搬費	41,107
給料	696,579
賞与引当金繰入額	17,583
退職給付費用	45,006
旅費及び交通費	51,474
減価償却費	124,325
研究開発費	41,015
その他	604,777
販売費及び一般管理費合計	1,621,870
営業損失(△)	△269,852
営業外収益	
受取利息	1,315
受取配当金	3,711
受取賃貸料	12,340
受取割引料	4,629
雇用調整助成金	7,126
その他	4,098
営業外収益合計	33,221
営業外費用	
支払利息	35,833
為替差損	7,479
賃貸費用	5,361
その他	4,030
営業外費用合計	52,705
経常損失(△)	△289,335
特別利益	
固定資産売却益	1,326
投資有価証券売却益	176
特別利益合計	1,502
特別損失	
固定資産売却損	739
固定資産除却損	13,334
投資有価証券評価損	15
工場移転費用	18,924
特別退職金	146,080
特別損失合計	179,094
税金等調整前四半期純損失(△)	△466,928
法人税等	81,895
四半期純損失(△)	△548,823
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△223
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△548,600

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
四半期純損失(△)	△548,823
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△17,690
繰延ヘッジ損益	4,984
為替換算調整勘定	△106,435
退職給付に係る調整額	14,579
その他の包括利益合計	△104,561
四半期包括利益	△653,385
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△601,008
非支配株主に係る四半期包括利益	△52,376

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

前第3四半期累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)

前第3四半期累計期間は連結財務諸表を作成していないため記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			
	放電加工・表面処理	金型	機械装置等	計
売上高				
外部顧客への売上高	4,313,983	3,131,660	877,475	8,323,119
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,100	18,315	33,911	58,327
計	4,320,084	3,149,976	911,386	8,381,447
セグメント利益又は損失(△)	△26,942	326,431	92,098	391,586

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	391,586
全社費用(注)	△661,439
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△269,852

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症拡大により、当社グループでは主要な取引先の減産の影響を受けており、当該影響は今後一定期間にわたり継続することが見込まれることから、当第3四半期連結会計期間において繰延税金資産の回収可能性を見直しております。この結果、繰延税金資産の一部を取り崩したことなどに伴い、法人税等調整額を71百万円、法人税等に計上しております。

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第3四半期連結累計期間(2020年3月1日～2020年11月30日)

(単位:千円)

セグメントの名称	第3四半期連結累計期間 (2020年3月1日～2020年11月30日)	
		前年同期比(%)
放電加工・表面処理	4,456,444	—
金型	3,052,686	—
機械装置等	937,697	—
合計	8,446,828	—

(注) 1. 上記金額は、販売価格によって表示しております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注状況

当第3四半期連結累計期間(2020年3月1日～2020年11月30日)

(単位:千円)

セグメントの名称	第3四半期連結累計期間 (2020年3月1日～2020年11月30日)	
		前年同期比(%)
放電加工・表面処理	4,540,297	—
金型	2,626,809	—
機械装置等	1,008,814	—
合計	8,175,920	—

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第3四半期連結累計期間(2020年3月1日～2020年11月30日)

(単位:千円)

セグメントの名称	第3四半期連結累計期間 (2020年3月1日～2020年11月30日)	
		前年同期比(%)
放電加工・表面処理	4,313,983	—
金型	3,131,660	—
機械装置等	877,475	—
合計	8,323,119	—

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。